



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R7年6月（一般用）

『インフラメンテナンス大変革 ～老朽化の危機を救う建設DX』

石田哲也・岩城一郎 他【編著】/日経BP (2025/4)



「インフラ危機」は待ったなしの状況。これからのインフラメンテナンスは「事後保全」型から「予防保全」型に転換することが求められていると本書は語る。最新の事例を紹介しつつ、技術力の素晴らしさも感じられる1冊。

『歩いて読みとく地域経済 ～地域の営みから考えるまち歩き入門』

山納洋【著】/学芸出版社 (2025/3)



農山漁村、町工場、百貨店や商店街、観光地に埋立地…「まち」を地域経済の視点で歩くと、その成り立ちをめぐる人々の営みが見えてくる。まち歩きの達人が贈る「わたしたちの経済圏」を考えるヒント。

『テクノ封建制～デジタル空間の領主たちが 私たち農奴を支配する とんでもなく醜くて、 不公平な経済の話。』

ヤニス＝バルファキス【著】 斎藤幸平【解説】/集英社 (2025/2)



グーグルやアップルなどの巨大テック企業が人々を支配する「テクノ封建制」が始まった！この不公平なシステムを打ち破る鍵はどこにあるのか？ギリシャの経済危機時に財務大臣を務めた著者が社会の変質を看破する。

『幸福の憲法学』

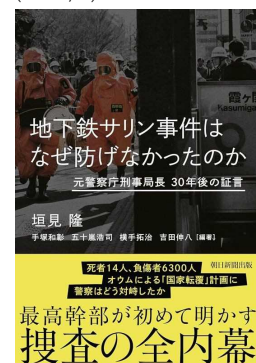
木村草太【著】/集英社 (2025/4)



憲法で保障されている「幸福追求の権利」。広い視点で人権問題を考えると、様々な立場の人の幸福追求の必要性が浮き彫りになる。身近な人権問題について、憲法に書かれた言葉と向き合いながら解説する。

『地下鉄サリン事件はなぜ防げなかったのか～元警察庁刑事局長 30年後の証言』

垣見隆・手塚和彰 他【編著】/朝日新聞出版 (2025/2)



未曾有のテロ「地下鉄サリン事件」が起きてから30年。事件時の警察庁刑事局長が、当時の資料やメモを元に初めて証言。オウムとサリンの関係を掴みながらも、なぜ事件を防げなかったのか？捜査の全内幕を語る。

『静かな退職という働き方』

海老原嗣生【著】/PHP出版 (2025/2)



「静かな退職」とは、仕事は辞めないが、最低限の業務をやるだけの人を指す。積極的に仕事の意義を見出さない姿勢は、ほぼ退職している状態と変わらない。そんな人々を生んだ社会変化を解説。職場や管理職の対処方法も考える。

『「良い質問」を40年磨き続けた対話のプロ がたどり着いた「なぜ」と聞かない質問術』

中田豊一【著】/ダイヤモンド社 (2025/3)



「なぜ」と聞かずに「いつ」と聞こう！そんな「事実質問術」を紹介。誰にでも正確に伝達ができ、最速で問題を解決する唯一無二の手法とは？なぜか話が通じなかった経験がある人が質問・対話のセンスを養える一冊。

『サクッとわかる ビジネス教養 非認知能力』

中山芳一【著】/新星出版社 (2025/2)



AIの登場、気候変動、貧富の拡大、戦争など、変化が激しく今後の予測が困難な時代を生き抜く上で欠かせない力「非認知能力」。そんな能力の基礎知識から身につけ方、伸ばし方までビジュアルでわかりやすく解説！

▶「自治体施策の具体例 等」に関する書籍



新着

『子どもを「分けない」学校～「ともに学び、ともに生きる」豊中のインクルーシブ教育』 橋本直樹【著】/教育開発研究所 (2025/3)



大阪府豊中市立南桜塚小学校では、全盲の子ども車椅子に乗る子どもと共に生活している。地域で生きる子どもたちを育てる学校の「当たり前」とは何か？子どもたちと共に学ぶ日々を、校長先生が綴る。

新着

『「こども計画」に活かせる自治体総合施策221例』 渡部(君和田)容子、渡部昭男【著】/日本標準 (2024/12)



少子化対策・子育て支援・若者支援などを総合した「こども計画」が自治体に求められている今、議員や自治体職員の、政策立案や改訂に役立つ実践的な参考書！一目で全国各自治体の施策が把握できる事例集。

新着 **寄贈図書**

『地域を変革するリーダーシップの展開～現代の地域リーダー像』 高崎経済大学地域科学研究所・若林隆久【編著】/日本経済評論社 (2024/12)



人口減少時代の今、国内の多様な地域・分野で活躍する地域リーダーの事例を紹介する。「地域におけるリーダーシップのあり方」がわかる1冊。編著者である高崎経済大学より寄贈。

『全47都道府県幸福度ランキング2024年版』 寺島実郎【監修】/(一社)日本総合研究所 (2024/10)



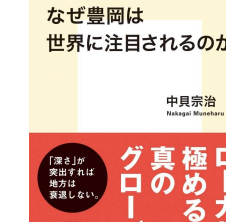
おなじみ全国ランキング本。「人口非集中地区の若者率」「農業の6次産業化伸び率」など5つの項目を新たに加えた85指標で徹底比較。政策課題や地域の魅力発信のための参考となる1冊。

『日本一の農業県はどこか～農業の通信簿』 山口亮子【著】/新潮社 (2024/1)



日本全国の農産物の売上げ額を予算で割り「コスパ」を算出してランキング。すると「都道府県魅力度ランキング下位常連組」が最強の農業県という意外な実態が浮かび上がった！「コスパ最高の農業は群馬にあり」と著者は語る。

『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』 安彦恵里香【著】/地平社 (2024/11)



兵庫県豊岡市は、「移住したい街ランキング」でも上位に入り、近年国内外から注目を集める。なぜそれが実現したのか？元市長が全国の自治体にも応用可能な視点を示しながら、その秘策を綴る。

『ビジュアルでわかる日本～データに隠された真実』 じゃんこそば【著】/SBクリエイティブ (2023/12)



「食文化」などの身近な話題から「少子高齢化」や「気候変動」「感染症による行動変容」などの社会問題にいたるまで、45のテーマで日本のデータを可視化。数値を可視化することで、意外な真実が見えてくる！

『地域の特徴がよくわかる！47都道府県おもしろ条例図鑑』 長嶺超輝【著】/旬報社 (2023/11)



「りんごまるかじり条例(青森県板柳町)」 「緑茶で乾杯条例(静岡県掛川市)」など愉快的な条例がたくさん！全国のユニークな条例を取り上げ、地域の特徴を紹介。地方自治が楽しくわかる1冊！